



体育科学学校課題研究（令和元年度）

できる喜びを味わい、主体的に学習する児童の育成
～児童が互いに学び合う体育授業を目指して～



坂戸市立勝呂小学校

令和元年度 校内研究

1 研究主題とサブテーマ

できる喜びを味わい、主体的に学習する児童の育成

～児童が互いに学び合う体育授業を目指して～

2 研究の趣旨

本校の児童は、比較的運動好きの児童が多い。しかし、本校でも児童の成育環境の変化などにより、体力・運動能力の低下や活発に運動する者とそうでない者の二極化が起こっている。このような状況から、すべての児童が生涯にわたり積極的に運動に親しんでいく一つの基盤として、体育の授業での「学び合い」を通して、全教科で子供たち一人一人に分かる喜びを味合わせたいという願いから体育科における学校課題研究がスタートした。

本研究では、「児童が互いに学びあう授業を実践するために、「学びあい」を1時間ごとの授業の中に位置付け、指導計画の工夫を図ったものである。運動への意欲が向上し、学び方の定着化を図ることにより、運動に自発的、効果的に取り組むことができるようになるれば、「生きる力」を支える健康や体力を自らの手で維持、向上できるものと考えた。

今年度は、研究2年目ということで、学び合いを通しての「主体的に学習できる児童を育成すること」「教師の指導力を向上させ、学校全体の授業の質を向上させること」と昨年度の反省を生かした「子供同士をつなぐ授業づくりを」準転嫁し実践してきた。

3 研究のポイントと授業時における目指す児童像

研究のポイント

○運動好きな児童の育成 ○学びあう力の育成 ○技能・体力の向上 ○授業モデルの構築

〈 低学年 〉

○授業の約束を守り先生や友達の話をしっかりと聞ける児童

〈 中学年 〉

○友達と話し合う中で、自分と違う考えを受け入れ、自分の考えを伝えられる児童

〈 高学年 〉

○協働的な活動を通して、自分達の考えを深め、まとめることが出来る児童

4 研究内容及び手立て

(1) 校内研究の充実

2年間に及ぶ体育科の研究授業を中心に授業モデルを構築する。特に、低・中・高学年ごとに体育の授業の中での教師の役割を確認する。

(2) 研修の充実

指導者を招聘した全職員参加型授業研究会を実施する。授業モデルを蓄積していく。

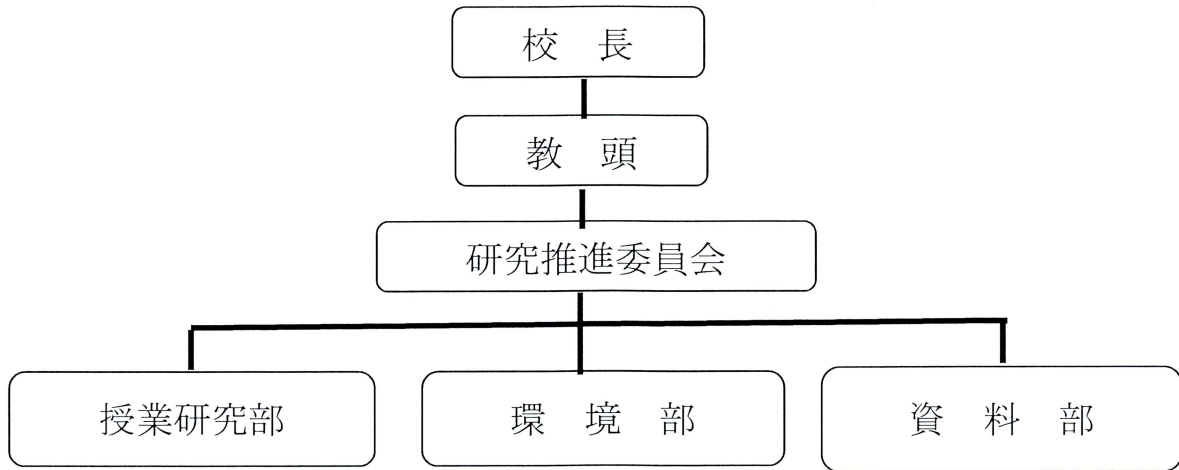
(3) 日々の授業の充実

本校児童の実態に即した指導、・課題とまとめの徹底、・教材研究の徹底することで体育指導内容の共有化を図る。

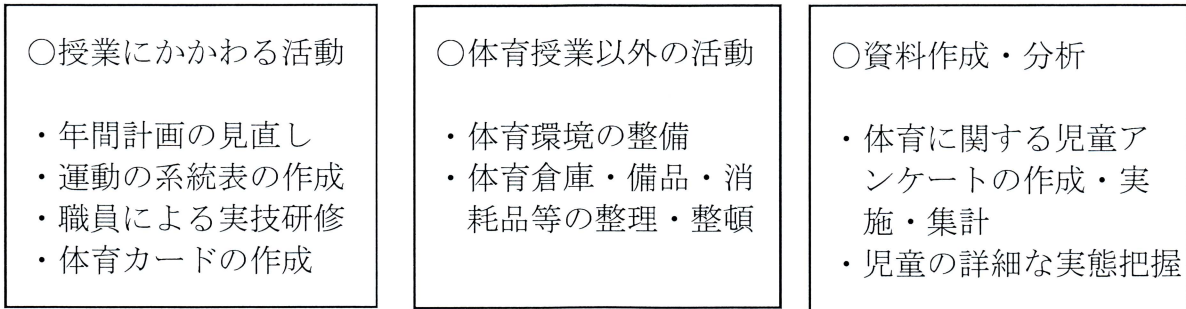
(4) 家庭との連携

運動内容を精選し、保護者に対して児童の達成状況等を報告する。本校の取り組みを紹介することで家庭での運動習慣の定着を図る。

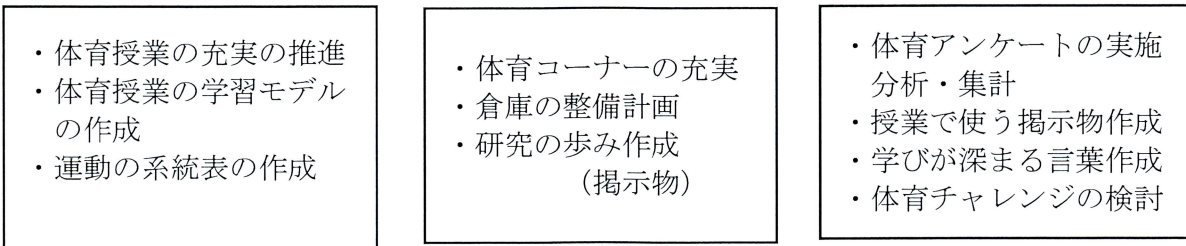
5 研究組織



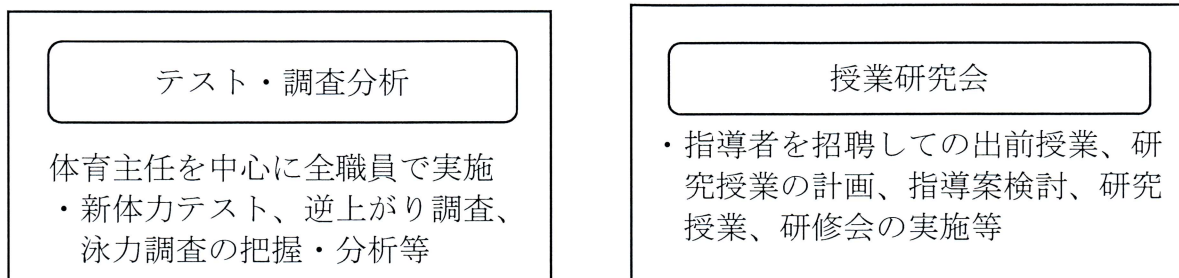
令和元年度 主な活動



平成30年度 主な活動



このほか部会とは別に



令和元年度 研究のあしあと

	研修日	研修の内容
1	4月 5日 (金)	研究推進委員会 (今年度の研究の流れについて)
2	5月 27日 (月)	第1回…研究主題・仮説の確認、研究組織の提案、授業の予定確認
3	6月 25日 (火)	体育授業づくり研修会・出前授業 「体育授業の在り方について ～体育授業づくりの重要な考え方～」 埼玉大学教育学部附属小学校 森田哲史先生
4	7月 8日 (月)	第2回…研究組織・授業者の決定
5	7月 23日 (火)	第3回…研究部会 (体育カードの検討・環境整備計画・体育アンケート)
6	8月 26日 (月)	第4回…研究部会 (体育カードの検討・環境整備・体育チャレンジ)
7	8月 28日 (水)	指導案検討 1年生 (坂戸市立教育センター 指導主事 武田先生)
8	8月 29日 (木)	第5回…校内研修 (体育授業でのタブレットの活用方法・教材づくり)
9	8月 30日 (金)	指導案検討 4年生 (坂戸市立教育センター 指導主事 児玉先生)
10	9月 17日 (火)	体育科授業研究会 (全体研) 指導者: 武田先生 1年2組「鉄棒を使った運動遊び」「かけっこ遊び」 刈谷教諭
11	9月 30日 (月)	体育科授業研究会 (全体研) 指導者: 児玉先生 4年2組「跳び箱運動～台上前転～」 柿沼教諭
12	10月 21日 (月)	第6回…学び合い段階表について・研究部会 (前回の続き)
13	11月 18日 (月)	研究推進委員会 (研究のまとめ・来年度の研究について)
14	12月 3日 (火)	指導案検討 3年生 (埼大附属小 森田先生)
15	12月 10日 (火)	体育科授業研究会 (全体研) 指導者: 森田先生 3年1組 「ゴール型ゲーム～タグラグビー～」 磯部教諭
16	1月 8日 (水)	指導案検討 5年生 (坂戸市立教育センター 指導主事 武田先生)
17	1月 16日 (木)	指導案検討 6年生 (坂戸市立教育センター 指導主事 武田先生)
18	1月 22日 (水)	体育科授業研究会 (ブロック研修) 指導者: 武田先生 6年1組「跳び箱運動～頭はね跳び～」 廣本教諭
19	1月 27日 (月)	学び合い研修会 (全体研修) 指導者: 杉山先生 5年1組「跳び箱運動～大きな台上前転～」 吉田恭教諭
20	2月 6日 (木)	指導案検討 2年生 (坂戸市立教育センター 指導主事 児玉先生)
21	2月 14日 (金)	体育科授業研究会 (ブロック研修) 指導者: 児玉先生 2年2組「ボール蹴り～ボールゲーム～」 大野教諭
22	2月 17日 (月)	第7回…研究のまとめ (学年・研究部会)
23	3月 2日 (月)	第8回…研究紀要の資料確認
24	3月 9日 (月)	第9回…研究紀要の配布

令和元年度 校内研究 成果と課題

1 今年度の成果

- 『主体的に学習できる児童を育成すること』『教師の指導力を向上させ、学校全体の授業の質を向上させること』という目標に対して、全職員で協力し取り組むことができた。
- 昨年度から取り組んでいる体育チャレンジでは、家庭での運動習慣が定着してきた。新体力テストの結果を分析し、苦手な種目を家で取り組める方法を考えていきたい。
- 器械運動以外の領域でも授業モデルを構築することができた。
- 学び合いを中心とする体育授業を目指すなかで、タブレットや作戦ボード等も活用して、様々な友達と学び合う姿が見られた。
 - ・中、高学年では、自分に合った活動の場を選ぶことや、チームで作戦を考えて個々の役割を果たすことなど、授業の中で主体的に活動する場面を多く取り入れることができた。
 - ・低学年では、お互いの動きを見合ったり、いい動きをしている友達の真似をして動いたりしながら、主体的に活動できる児童が増えてきた。

2 今後の課題

- 体育朝会や休み時間の取り組みを、児童の実態に合わせて検討していきたい。
- 今年は器械運動以外の領域も取り組むことができたが、まだ取り組んでいない領域があるので、校内研修の中に取り入れていきたい。
- 研究協議の取り組み方がいつも同じだったので、教職員同士も学び合いが活発に行えるように協議の仕方を考えていきたい。

《ご指導いただいた先生方》

学び合いスーパーバイザー	杉山 二季 先生
埼玉大学教育学部附属小学校	森田 哲史 先生
坂戸市教育委員会指導主事	武田 浩明 先生
坂戸市教育委員会指導主事	兒玉 直也 先生

《研究に携わった本校職員》

小林 正明	大崎 和彦	菊地 隆志	森山 典子	刈谷 優花
金子 孝晴	笹山 香織	大野 仁博	中村 珠己	磯部 祐花
黒坂 弘	滝 翔悟	大坪 三紗	柿沼 翔太	田畑 明美
吉田恭美子	吉田 彩華	菊地 直樹	廣本 義成	関口 哲
尾上 香織	村上かやの	森田 圭子	石田 直巳	田代 淳子
内田 隆	栗林 浩壮	田中 典子	蓑原 聡美	荘 聡子
鈴木 徳将	福壽 美歩	佐々木佑太		